

K10

Acoustic Portable Audio

Rechargeable Battery Powered PA + Wireless + Bluetooth



SHIDU K10 ユーザーマニュアル

この度は、SHIDU K10 をご購入頂き、誠に有り難うございます。本機の性能を十分発揮させると共に、末永く愛用頂くため、必ずご使用前にこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後は大切に保管して下さい。

■品質保証に関して

本機は、SHIDU K10 輸入代理店オールアクセスインターナショナル（株）が、ご購入後 1 年以内の品質保証を行います。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、購入の販売店に御依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常が発生したときは、電源スイッチをオフして下さい。
2. 本機は高出力の充電電池本体を使用しています。絶対に開けないで下さい。修理は弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度の非常に高い場所に置いたり、雨天の野外での使用は避けて下さい。

▲警告：次のような場所での使用は避けて下さい。

- ・湿度の非常に高い場所
- ・砂やほこりが多い場所
- ・台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- ・ヒーターの近くなど温度が高い場所

■電源ソース 重要！

電源は付属の専用アダプターのみを使用して下さい。本機は充電してから使用するよう設計されています。専用アダプターを繋いだまま使用しないでください。

■取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。クリーナーやシンナーは使用しないで下さい。

■サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や、取り扱い方は行わないで下さい。記載外の使用方法で本機を使用されますと、製品不良が発生する場合があります。

本体の取扱いは慎重に行ってください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。又、記載外の使用方法により、万が一負傷された場合、弊社では一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

修理が必要な場合は、購入先にご依頼下さい。

サポート修理の連絡は、下記の弊社 e メール窓口までご連絡ください。

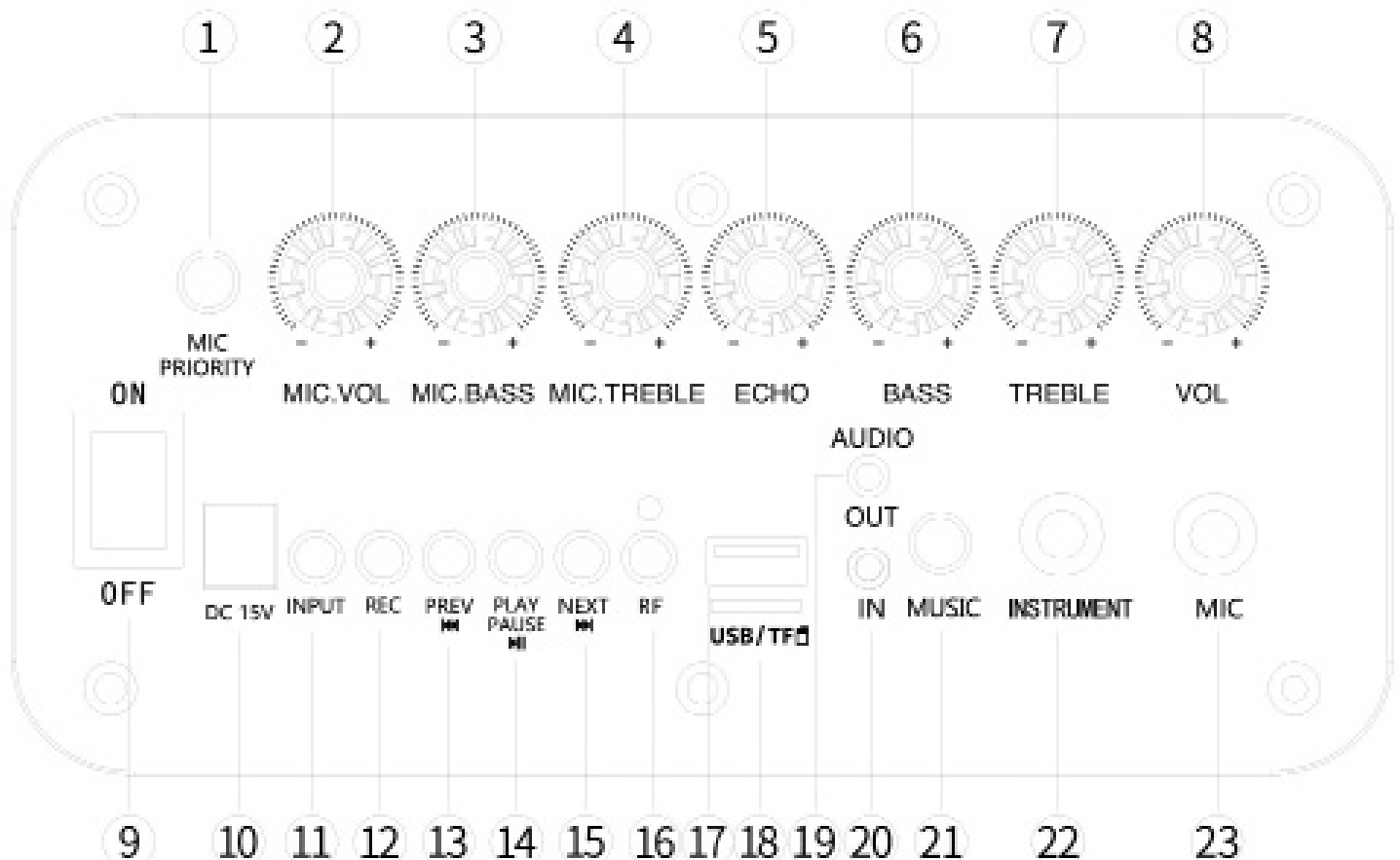
e メール窓口：support@allaccess.co.jp

主な仕様：

- 人間工学に基づいたデザインコンセプトをスタイリッシュなスタイルと融合しました。
- 国内電波法をクリアした UHF ワイヤレスシステムを採用しました。B 型を採用し、全 30CH 切り替えが可能です。K10 の PA 出力レンジを超える 35m のトランスミッターレンジを採用しました。
- 80W のミュージックパワーが出力できる 2 ウェイスピーカーシステムを採用しています。
- Bluetooth 4.2 に対応しており、モバイルデバイスなどから音楽ソースをワイヤレス再生できます。
- SHIDU オリジナルのワイヤレスマイクを 2 台付属し、2 チャンネルのワイヤレスマイクを同時に使用できます。
- レコーダー / プレーヤー機能を操作できるリモートコントロールを付属しています。
- AUX 入出力を装備しています。
- ボーカルをキャンセルできるカラオケ機能を備えています。
- 複数（最大 3 台）の K10 がワイヤレス接続できます。

テクニカルスペシフィケーション：

- ・ 音声出力：80W ミュージックパワー
- ・ 周波数特性：20Hz-20KHz
- ・ S/N 比：>=70dBa
- ・ 使用環境温度：-10°C ~ 45°C
- ・ 充電電圧：DC 15V / 2A（付属専用アダプター使用）
- ・ 充電時間：6 ~ 8 時間
- ・ 連続動作時間：8 ~ 10 時間



コントロール

1. MIC PRIORITY (マイク優先) : ボタンを押した状態で、マイクへ信号が入力されると、マイク音声はバックの音楽ソースよりも自動的に大きくなるように動作します。
*注意: 場内に注意を促すような用途に使用します。この機能にはワイヤレスマイクにはかなり大きな音声が必要です。
2. MIC VOL (マイクボリューム) : マイクフォンの音量を設定します。(ワイヤレス、ワイヤード)
3. MIC BASS (マイク用ベース) : マイク音声の低域を調整します。
4. MIC TREBLE (マイク用トレブル) : マイク音声の高域を調整します。
5. ECHO (エコー) : マイク信号に効くエコーを調整します。
6. BASS (ベース) : 音楽ソースの低域を調整します。
7. TREBLE (トレブル) : 音楽ソースの高域を調整します。
8. VOL : スピーカーから出力される音量を調整します。
9. Power ON/OFF : 電源のオン/オフスイッチです。
10. DC 15V : 充電用の電源ジャック
*注意: 充電しながら本機を使用することは避けて下さい。バッテリーの寿命に悪い影響を与えます。
11. INPUT : AUX、Bluetooth、TF/ USB の入力ソースを選択するスイッチです。
12. REC/PLAY : 録音&再生機能のスイッチです。
13. PREV (Previous) : 前オーディオファイルを選択します。
14. PLAY/PAUSE : オーディオプレイ・モードでのプレイ / ポーズの操作を行います。
15. NEXT : 次のオーディオファイルへスキップします。
16. RF : 他の K10 (最大 3 台まで) と音声をワイヤレスリンクできます。
17. USB スロット : USB フラッシュドライブに対応しています。(max 32G、MP3 WAV WMA MP3 : 32GB で約 7300 曲、ビットレート 128kbps、曲長 4 分) * WMA は MP3 と同等です。
18. TF カードスロット : TF カードに対応しています。(max 32G、MP3 WAV WMA)
19. AUDIO OUT ヘッドフォン出力又はライン出力として使用できます。出力レベルは VOL で調整します。
20. AUDIO IN 外部ソースから信号のライン入力が可能です。
21. MUSIC : 音楽ソースのボーカルをキャンセルするカラオケ機能です。
22. INSTRUMENT: ギター、ベース入力ができます。この入力は K10 をインストルメントアンプとして使う入力です。
23. MIC: ダイナミックマイクやインストルメントが接続できます。(6.5mm 又は 1/4" フォーンケーブルを使用します)
#2 の MIC VOL で信号レベルを調整します。

注意: ワイヤレスマイクを使いながらインストルメントを入力したい場合、バックグラウンドミュージックは USB 又は TF カードで音楽を入力してください。

REC (録音) 機能

1. 接続しているワイヤレス、又はワイヤードマイクからの音声のみの (最大 3 マイクの音声の) 録音が可能です。“REC” ボタン (# 12) を長押しして録音モードに入ります。録音メディアには、USB フラッシュドライブ (# 17) 又は TF カード (# 18) を使用します。再度 REC ボタンを押すと録音が終了し、メディアオーディオファイルが記録されます。
2. どのモードでも、“REC” ボタンを短く押すと再生モードに入ります。再生はインサートされているメディアデータが再生されます。再生データは “| ◀◀” または “▶▶ |” で選択します。
3. 再生モードでは、リモートコントロールの “○” から再生の繰り返しがコントロールできます。

Bluetooth (ブルートゥース) 機能

1. 本機の電源をオンにし、“INPUT” を押して Bluetooth (ブルートゥース) モードに入ります。フロントの LED 表示には“BLUE”が表示されます。



2. モバイルプレーヤーで接続したいデバイスに“K10”を選び、ブルートゥース接続します。接続できない場合は、本機電源を再投入するか、又はモバイルデバイスのブルートゥースのオン / オフを試してみてください。
3. 安定したブルートゥース接続のために、デバイスと本機の送受信方向を変更しないでください。

注意：

1. 本機で再生される音声は L+R のモノサム信号です。
2. モバイルデバイスのブルートゥース接続画面には“K10”としか表示されません。異なる K10 を接続すると、接続画面には複数の“K10”が表示されます。接続しない K10 は一度モバイルデバイスから消し、再度“K10”を検索してから、改めて選択 & 接続を試みて下さい。

ワイヤレス・シリアル・テクノロジー

このワイヤレス・テクノロジーは、K10 のワイヤレスリンクを可能にします。複数台の K10 が会議などで必要な場合に便利な機能です。このリンク機能は 3 台まで可能です。

1. 本機の“RF” ボタンを素早く短押します。(長押しすると RF LED は点灯しません。) すると、RF LED が赤く点灯します。
2. この状態でリンク先の K10 で電源を入れます。“INPUT” ボタンで UHF (前面 LED 表示) に切り替えます。リンク先の K10 は 3 ~ 5 秒で自動的にリンクします。リンクが完了すると UHF 表示の点滅が止まります。

注意：このリンク時は、マスター機のワイヤレスマイクが 2 本のみ使用できます。リンク先の K10 音声は全てマスター機と同じ音声再生されるため、リンクされた K10 のワイヤレスマイクは追加できません。



ノート：複数台使用時の音量設定

マスター機の VOL が、UHF ワイヤレスリンクした他の K10 ボリュームを決定します。この際、リンクした 2 機、3 機目の“MIC VOL”が受信音量、“VOL”がそれぞれの K10 が出力する音量レベルをコントロールします。リンクが完了したら、必要に応じて 2 機、3 機目の音量レベルを調整してください。



(1) マスター機の「VOL」で出力レベルを決定します。

(2) 2 機目の「MIC VOL」で受信音量を調整します。

(3) 2 機目の「VOL」で出力音量を決定します。

(4) 3 機目の「MIC VOL」で受信音量を調整します。

(5) 3 機目の「VOL」で出力音量を決定します。

ワイヤレス・マイクロフォン

まず、本機 K10 の電源を入れてから、ワイヤレスマイクの電源を入れて下さい。ワイヤレスマイクとのペアリングは、本機の LED 表示が『0000』又は『BLUE』が表示されている状態で行って下さい。

1. ON / OFF

”電源スイッチ”を長押しすると、“UHF”その後、工場出荷時に設定された周波数が表示されます。再度、同スイッチを長押しするとワイヤレスマイクはオフになり、OFF が表示されます。

2. ワイヤレスマイクと本機 K10 とのペアリング

ワイヤレスマイクは、本機（レシーバー）と自動的にペアリングされます。ペアリングされない場合は、本機の“INPUT”ボタンを素早く3回短押しして下さい。すると、本機は送信機をサーチするワイヤレス・ペアリング・モードに入ります。通常、10～30秒程度で自動的にペアリングが完了します。注：これでもリンクしない場合は、一旦ワイヤレスマイクの電源をOFFにして、再度電源を投入して下さい。

3. 出荷時において

工場出荷時にペアリングテストを行っています。何らかの理由で、ワイヤレスマイクの周波数を変更したい場合は、以下の手順で行なってください。

3.1. ワイヤレスマイクの電源を入れ、バッテリーコンパートメントの背面にある▲CH▼ボタンで周波数を切り替えます。本機の音量（VOL）が高く設定されていると、ポップノイズが発生します。周波数を変更する時はVOLを下げて下さい。3.2. 周波数の変更後、本機の“INPUT”ボタンを素早く3回短押しして下さい。すると、ワイヤレス・ペアリング・モードに入り、10秒程度で自動的にペアリングされます。

4. ワイヤレスマイクのバッテリー表示

トランスミッターのバッテリー残量は、電池マークでLCDスクリーンに表示されます。電池が空になったサインが表示されたら、バッテリー（単三電池2本）を交換してください。

ノート：

- ・アルカリ電池の連続使用時間：4～5時間
- ・単三充電電池の連続使用時間（推奨リチウムポリマーバッテリー）：4～5時間

*注意：交換時には電池の極性にご注意してください。

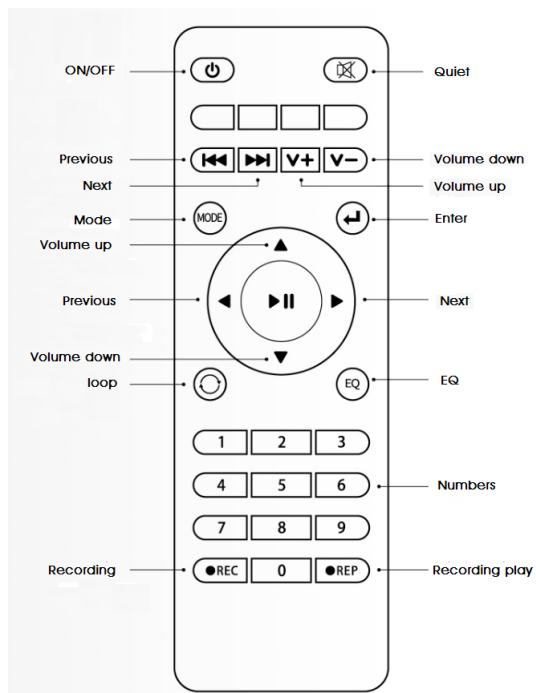
ノート：

付属のワイヤレスマイクには、それぞれ（A、B）15チャンネルの周波数が割り当てられています。ワイヤレスマイクのLED表示が4桁しかありませんので、実際の周波数とは異なります。添付の表をご覧ください。

使用可能な周波数

CH(A) ワイヤレスマイクの表示	CH(A) 設定周波数	CH(B) ワイヤレスマイクの表示	CH(B) 設定周波数
806.1MHZ	806.125MHZ	808.0MHZ	808.000MHZ
806.2MHZ	806.250MHZ	808.1MHZ	808.125MHZ
806.3MHZ	806.375MHZ	808.2MHZ	808.250MHZ
806.5MHZ	806.500MHZ	808.3MHZ	808.375MHZ
806.6MHZ	806.625MHZ	808.5MHZ	808.500MHZ
806.7MHZ	806.750MHZ	808.6MHZ	808.625MHZ
806.8MHZ	806.875MHZ	808.7MHZ	808.750MHZ
807.0MHZ	807.000MHZ	808.8MHZ	808.875MHZ
807.1MHZ	807.125MHZ	809.0MHZ	809.000MHZ
807.2MHZ	807.250MHZ	809.1MHZ	809.125MHZ
807.3MHZ	807.375MHZ	809.2MHZ	809.250MHZ
807.5MHZ	807.500MHZ	809.3MHZ	809.375MHZ
807.6MHZ	807.625MHZ	809.5MHZ	809.500MHZ
807.7MHZ	807.750MHZ	809.6MHZ	809.625MHZ
807.8MHZ	807.875MHZ	809.7MHZ	809.750MHZ

リモートコントロール



1. リモートコントロールは、本機の前面に向け、6m（使用角度 30°）以内で使用してください。
2. 本機の前面に向け、障害物は避けてください。
3. 使用時に強い光が当たると正常に動作しない場合があります。
4. 使用する 2 本の A4 バッテリーは、同じコンディションのバッテリーを使用してください。
（古いものとフレッシュなバッテリーを組み合わせないでください。）

注意：

各機能は図をご参照ください。

重要事項 -1: 本機の充電について

本機内に内蔵している充電器は、充電方法や使用状態によってその寿命に大きな影響を受けます。下記の事項を必ず守ってください。

1. 充電する際は電源スイッチを必ず OFF（オフ）にしてください。
2. 付属の専用 15V/2A アダプターで充電してください。
3. 6～8 時間の充電が完了したら、アダプターを本機から抜いてください。
本機のバッテリーの状態は、電源をオンにするとバッテリーのサインで LED 表示されます。
4. 本体のバッテリー表示：4 つのバーで容量を表示します。
充電時にはこの表示が点滅し、充電が完了すると点滅が止まります。
5. 本体のバッテリー表示が、1 バーの 25%程度になったら充電してください。
6. 本機を 1 ヶ月以上ご使用されない場合でも、必ず 1 ヶ月以内に充電するようにしてください。
内蔵バッテリーが故障する恐れがあります。

重要事項 -2: 安全にご使用いただくための注意

1. 本機やワイヤレスマイクを火器の近くや高温の場所で使用しないでください。
2. 内蔵バッテリー（充電電池）を開けたり壊したりしないでください。
又、交換方法によって爆発する可能性があります。バッテリーを水や火の中へ入れないでください。
3. 可燃性や爆発の危険がある場所では、電源をオフにしてください。
ガソリンスタンドや化学関連を扱う場所では、ワイヤレスマイクを使わないでください。
4. K10 を航空機に乗せる場合は、各エアラインの規則に従ってください。
その場合は、必ず K10 で電源をオフにしてください。

トラブルシューティング

1. **電源スイッチを入れても音が出ない。**
 - 1.1 音声入力がない。→信号ソースを変えてみてください。
 - 1.2 音声が聴こえない。→ボリューム（VOL）を調整してください。
2. **音が歪む。**
 - 2.1 音量を上げすぎると音が歪む場合があります。
 - 2.2 スピーカーが破損していることが考えられます。
3. **マイクロフォンからの音が出ない。**
 - 3.1 マイクロフォンからの音が出ない。：ワイヤードマイクを MIC ジャックに正しく接続してください。
 - 3.2 ワイヤレスマイクの音が出ない。：ワイヤレスマイクの電源を入れてください。
 - 3.3 ワイヤレスマイクの電池容量が低い。：ワイヤレスマイクのバッテリーを交換してください。
 - 3.4 本体の MIC ボリュームが上がっていない。
4. **MP3 の音声が再生されない。**
 - 4.1 USB フラッシュドライブ又は TF カードのフォーマットが違っている。
MP3 のフォーマットを使用してください。



All Access International Inc.

本 社 愛知県あま市本郷三反地21番地
名古屋事務所 愛知県あま市本郷四反田27番地

お問い合わせはこちら

Mail

support@allaccess.co.jp

WEB

www.allaccess.co.jp